

令和元年8月7日

国土交通大臣 石井 啓一 殿

衆議院議員 海江田万里

衆議院議員 初鹿明博

参議院議員 小池晃

衆議院議員 松原仁

都心低空飛行を伴う羽田空港発着航空機の新飛行経路指定を 住民の理解を得る前に行わないよう求める要請文

石井国土交通大臣におかれましては、平素より国土交通行政へご尽力いただき、心より敬意を表します。

さて、羽田空港の国際機能強化に伴う新たな飛行経路案が示され、政府による説明会等が各地で開催されてきました。しかし住民からは騒音や落下物、飛行経路下の不動産価値の下落に対する不安の声が多数上がり、また先般示された新たな計画では、着陸時の降下角が3.5度という世界でも稀な急角度を想定し、航空機の墜落リスクに対する不安の声がさらに大きくなっています。特に、航空機の脚下げが想定される新宿区から港区等の住民からは氷塊等の落下リスクに対する厳しい声上がり、加えて、品川区議会や渋谷区議会において全会一致で「見直し」「容認しない」といった決議や意見書が成立し、現在でもそれを覆す決議はなされていません。これらの点も含め、現時点で東京都心上空での低空飛行を含む新飛行経路案に対する、住民や議会の理解が得られていないことは明らかです。

そこで以下要請します。

1、都心低空飛行を含む飛行経路案の航路指定を地元 住民や議会の理解が得られる前に行わないこと。

以上、ご理解のうえ慎重なご判断をいただきますよう心よりお願い申し上げます